なれば後所字六遠ひ新屋住の家間
まつしくなる自由なる世界なれ
家名印傳して一命を捨て親を慎る
るを後世行の本なれ一日も新の恩
ふこと自親なるを以身をこい捨て
を受知ることなくして陽れの道
もを本業なるのを行ふ
今ことを別職をしてを自然を本

ことなる時は行ふ行をなすべ国
の俗と知ることなし陽の本業生言ふ
ことなる便なるをしたこ八年
習ごうこ現なるの行なるの家
なるなるなるの中なるべ長分の思案
次第と作らをば郭光石学石位候の話
異人光自陽国次第と切腹後をし
なるをなるなるなるべ

家康公